

平成26年度事務事業評価シート		該当事業(評価対象外事業は基本情報のみ記載)		
		一般事務	公共建設事業	評価対象外事業
事務事業名	(介保)総合相談事業			
予算科目	3 款 2 項 2 目			
総合計画での位置付け	福祉の向上と保健・医療の充実～やすらぎとぬくもりのまちづくり～ 高齢者対策の充実			
所管課情報	担当課:	長寿介護課	電話番号(内線):	544
記入者情報	所属長:	武智 茂記	担当責任者:	大谷 香代子
事業の性格	法定事務			
実施期間	【開始年度】平成 18 年度 【開始年度】設定なし			
事業の対象	65歳以上の高齢者			
根拠法令等	介護保険法			
事業の目的	高齢者が住み慣れた地域において安心した生活を継続するための支援策について検討し、地域における適切なサービス、関係機関及び社会資源等の利用につなげるための支援を行う。			
事業の内容	地域におけるネットワークの構築実態把握総合相談支援			
改善策の 具体的 取り組み (当初)	個別及び地域の課題解決のため地域ケア会議を開催することが必要になるが、そのための相談シート及びアセスメントシートの活用を各在宅介護支援センターに周知し、相談窓口の機能強化を図る。			
改善策の 具体的 取り組み				

事業費及び財源内訳					
項 目		25年度決算	26年度予算	9月末の執行状況	26年度決算
事業費	直接事業費	7,219	8,451	4,624	7,383
	人件費	2,440	6,363	3,181	6,363
	合計	0	14,814	7,805	13,746
人件費 内訳	人工数	0.30	0.80	0.40	0.80
	人件費単価	8,135	7,954	7,954	7,954
	補助事業人件費	0	0	0	0
	人件費	2,440	6,363	3,181	6,363
財源内訳	国庫支出金	2,851	3,338	1,826	2,916
	県支出金	1,425	1,669	913	1,458
	地方債	0	0	0	0
	その他	1,516	1,774	971	1,550
	一般財源	3,867	8,033	4,095	7,822

事業活動の実績(活動指標)					
項目	単位	25年度実績	26年度予定	9月末の実績	26年度実績
総合相談件数(ランチ)	件	1926	2000	974	2017
総合相談件数(包括支援センター)	件	470	500	240	443
合計	件	2396	2500	1214	2460

向こう5年間の直接事業費の推移						
年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	5年間の実績
	8,000	8,500	8,500	8,500	8,500	42,000

成果指標				
成果指標	プランチにおける総合相談件数と地域包括支援センターにおける総合相談件数の総数を指標とする。			
指標設定の考え方	総合相談件数は高齢者の不安軽減、解消につながるものであるため、相談件数の総数を成果とする。			
区分年度	25年度	26年度	27年度	
目標	2300件	2500件	2500件	0
実績	2396件	2460件	0	0

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	3	B
		市民ニーズへの対応	3	
		市の関与の妥当性	4	
	有効性	事業の効果	3	C
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	3	C
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	委託機関により相談件数のバラつきはあるが、全体では相談件数が増加しており、高齢者の不安軽減や支援に繋がっていると考えられる。相談シートについては、在宅介護支援センターへの周知はできたが、今後は民生委員等地域の相談を受ける立場の方にも周知していきたい。また、相談の中からでてきた個別課題・地域課題の解決のためケア会議を開催し、地域包括ケアを推進していきたい。			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	3	
		市の関与の妥当性	4	
	有効性	事業の効果	4	B
		成果向上の可能性	4	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	4	B
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	相談件数が年々増加しており、高齢者の不安軽減や支援を行うために同事業は継続して行うべきである。国からは地域包括ケアシステムの構築を要請されており、今後、体制整備を行うことが急務である。			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	一次評価結果のとおり事業継続と判断する。
意見、課題	

行政評価委員会の答申

外部評価
(行政評価委員会)

経営者会議の最終判断

事業の方向性

現状のまま継続する。

意見、課題